

平和と幸福の物語 深化

ミュージカル
「お菓子放浪記」

24日、沼津公演

2年ぶりの上演となるミュージカル「お菓子放浪記」をPRする片山美穂。静岡市駿河区登呂の静岡新聞社制作センター



2年前に舞台化され、好評を博したミュージカル「お菓子放浪記」。静岡市在住のノンフィクション作家西村滋の同名小説を原作に、戦中、戦後の動乱期を生きた少年の姿を描く。劇団「チーム・クレセント」主宰の片山美穂が静岡市駿河区登呂の静岡新聞社制作センターを訪れ、24日の沼津公演（実行委員会主催、静岡新聞社・静岡放送後援）をPRした。

幼いころに両親を亡くした西村の自伝的物語。1976年に木下恵介監督（浜松市出身）によりテレビドラマ化され、2011年には映画になった。チーム・クレセントによるミュージカルは14年、静岡市など県内外を

回った。

特に反響のあった地方の声に応えるために企画した今回、ミュージカルに触れたことのない人にも分かりやすく伝えることは大きな役目だ。「シンプルな方が印象には残るが、原作には単純ではない面白さがある。その兼ね合いを全編で見直した」。脚本の木島恭と相談し、語り部となる主人公の存在感を強めた。

片山は前回に続き、主

人公の教師役として登場する。「見る人と同じように、出演者もスタツフも公演ごとに気付くことがある。お菓子が象徴する平和と幸福の物語をさらに深める舞台にしたい」

「お菓子放浪記」は西村が沼津在住時代に執筆した。ゆかりの地での初公演は、24日午後2時から沼津市民文化センターで。問い合わせは実行委員会事務局へ電055

(022)581515へ。